

最優秀賞（林野庁長官賞）

天狗から見た高尾

八王子市立七国小学校

中野 理子

わしは天狗である。わしは昔から高尾にいるのだが、この前かわい
小学生が来たから、少し観察してみたのじゃ。そのことについて今から
話そうと思う。

子供達はまず、わしのふるさと、高尾山に登っていった。インスタラ
クターと言う人いろいろな教えてもらっていた。たぶん、葉っぱのこ
がほとんどだと思う。高尾山には、針のようにするどく、さわるとチク
チクする葉っぱや、さわるとフサフサする葉っぱ、裏がX（エックス）
とY（ワイ）の形になっている葉っぱなど、たくさん種類があるから
う。

子供達は次にわくわくビレッジに行った。どうやらここにとまるらし
い…。

朝になり、子供達はロビーへ集まった。「森林教室」と「丸太切り」を
するらしい。

丸太切りをする子供達に先生がなにやら話しているぞ。ちょっと見
行ってみよう。ふむふむ、「この木はヒノキといって、二日前に取ったか
ら、少ししめっているよ。切ったらさわったり、においをかいでみたり
してみてね。いいにおいがするよ。」だとき。わしも少しにおいをかいて
みるかな…。おお!! けっこうにおいがきついなあ。強力だ。でも、
いいにおいもするかもしれん…。すごいなあ…。

お!! むこうには、森林教室で話を聞いている子供もいるぞ!! 見に行
ってみよう…。

森林教室というだけあって、森林の話をしているぞ。わしが言ってい
ることをうまくまとめて話してやろう。

『今、日本は、いや、世界は地球温暖化に困らされているのじゃ。こ
のままだと、20年後には、日本の最高気温は50度になり、今という熱
帯地域のようになってしまう。また、ホッキョクグマのすみかがとけて
しまい、絶滅つしてしまうのじゃ。その原因は、電気やゴミから、二酸
化炭素がたくさん出てしまうということじゃ。だから、人間も努力して
おる。例えば、「森林は緑のダム」、「葉っぱは酸素の工場」というように、
植物は二酸化炭素を吸収してくれ、酸素を出してくれるから、「ビルなど
に植物をうえる」、「校庭をしばふにする」などの工夫があったりするの
じゃ。また、その森林は日本の中では、大体三分の二もある。日本の森
林率は約66%だからな。ちなみに、世界の森林率は30%、東京都の森
林率は36%じゃ。覚えておくと豆知識じゃぞ。

少し話が変わるが、もう一つ話をしよう。高尾山には、ムササビ、リ
ス、イノシシ、タヌキ、シカ、キツネなどの動物がいる。だが、イノシシ
は、農家の畑を食いあらしたり、と人間を困らせている動物も多にいる。
まあでも、わしのふるさとの高尾には、多くの仲間がいるということじ
ゃ。動物だけではなく、昆虫も多くいるぞ。なん
と約五千種だ!!』こんな感じだ。まとめとして
は、わしのふるさとの高尾山には、み力がいっぱい
あるということかな。このことがあの子供達、
いや、もっとたくさんの人達に伝わるといいな。

